

会議結果のお知らせ

- 1 開催した会議の名称
平成27年度第3回大分県立図書館協議会
- 2 開催日時
平成28年3月15日（火） 14時00分から16時00分まで
- 3 開催場所
大分県立図書館 特別会議室
- 4 出席者（10名中8名出席）
 - (1) 委員
安東委員、宮町委員、今井委員、宮崎委員、富高委員、松元委員、佐藤委員、山田委員
 - (2) 事務局
小矢館長、大久保副館長、佐藤副館長兼学校・地域支援課長、後藤総務企画課長、佐藤サービス課長、千葉総務企画課主幹
- 5 公開、非公開の別
公開
- 6 傍聴人数
なし
- 7 議題及び結果
 - (1) 議題
 - ア 平成27年度事業実績について
 - イ 平成28年度基本方針及び重点目標（案）等について
 - ウ 平成28年度事業計画（案）について
 - エ 意見交換
 - (2) 結果
 - ア 事務局から報告 原案どおり了承された。
 - イ 事務局から報告 原案どおり了承された。
 - ウ 事務局から報告 原案どおり了承された。
 - エ 意見交換 頂いたご意見を今後の図書館運営に役立てていきたい。職員とも県立図書館の存立意義を認識し、課題を共有していこうと心掛けている。
県民の生涯学習の支援が基本であるが、市町村図書館の支援や学校図書館の支援を通じて、学校教育の支援を行っていききたいと思っている。
- 8 主な審議内容及び会議録の概要
 - (1) 平成27年度事業実施状況について
 - たくさんの取り組みが行われているが、県民への周知、県の「創造おおいた」等への掲載等、広報はどのように行われているか。限界はあるだろうが、ホームページの他にも県民に伝わる方法を検討し、テレビなども活用して、県民への周知に力を入れていただきたい。
 - (事務局) ホームページに事前に乗せている。また、館報や館内や県内の市町村立図書館へのチラシの設置、合同新聞への掲載等行っている。
県民への広報については県立図書館の大きな課題の一つと捉えている。このため、平成28年度の重点の取り組みとして、情報発信の充実という柱を新たに掲げた。
 - 県立図書館の一年間の取組は素晴らしいと感じた。県内隅々にこの県立図書館のサービスが行き渡るとよいと感じた。特に子ども読書支援センターに興味を持ったが、読書

推進員について詳しく教えてほしい。本年度、推進員の紹介を18件行ったということであるが、どういうところに行かれているのか教えていただきたい。また、ストーリーテリングについて教えていただきたい。

(事務局) 読書推進員は、県立図書館で任命して読書グループ等から依頼があった場合に紹介し、研修会等に行き講師等をおこなっていただいている。

派遣先は大分が多く8件、佐伯が4件、豊後大野2件、由布・竹田・日田各1件で合計18件となっている。大分市は推進員が多いことも要員と思われる。

ストーリーテリングについては、昔話や語りの文面を覚えて、子どもたちの前で顔を見て、目を見てお話をするもの。耳から聞く読書推進のとても良い方法である。

(2) 平成28年度基本方針及び重点目標(案)等について

○ 図書館に来られる方のための託児サービスは考えているか。

(事務局) 次年度事業「子どもを知ろう子育て講演会」に際して、託児を行うこととしている。全ての事業における託児は難しく、子育て関係についてのみ予算化している。

○ あらゆる環境にある子どもたちの読書推進を目標に入れていただき嬉しく思う。ひとつ気になるのが、中・高校生と書かれている部分は、高校に行っていない子どもたちもいるので、若者とか青年といった表現にかえていただけたらと思う。

(事務局) ご指摘ありがとうございます。表現については検討したい。

○ 資料保存計画の関係で、除籍と譲渡の分量、収蔵庫の限界の見通しや予算的なものが分かればお聞かせいただきたい。

(事務局) 除籍は、年に2回行っている。これを公共的な学校や市町村図書館、刑務所等に声をかけて、取りに来ていただいている。除籍資料は、毎年5,000冊位。そのうち譲渡は今年度2500冊で、半分位であった。

一般県民に無料で配布してくれたりいいのではないかという声もある。実際10年前にはおこなっていたが、希望者が殺到し大混乱を起こしたことや、その際の県立図書館の本が古本屋に並んでいたという話もあり、現在は公共的なところに限定して譲渡を行っている。三年前から刑務所が500冊くらい持って帰ってくれている。今後も少年鑑別所や少年院等いろいろな施設に声をかけていきたいと考えている。

収蔵庫については、昨年アラの試算をしたときに12年後位で一杯になる計算となった。明確な数字を出す必要があるということで、来年度の計画にあげている。また、県立図書館の114万冊の資料のうちにはかなりの古い資料もあり、この古い資料の保存の必要性についても再検討し、蔵書計画そのものの見直しも考えられると思っている。収蔵庫については、来年度中に計画をたてたいと考えている。

○ 地域人材育成に向けた講座等について、講座の実施は地域の図書館でも開催できればよいが実際は難しい。かといって大分まで出てくるのは、若い人は交通費等難しく高齢者に偏ってしまうと思う。ぜひ、出前の講座を検討いただけないかと思う。

(事務局) 28年度からこういう視点も考えていきたいというもの。出前については、先日、市町村図書館の要望を受けて、玖珠に職員を派遣して研修会を行った。県立図書館に集まれないということであれば、地域での講座も検討する必要があるかと思う。

昨年10月は、豊後大野でわらべ歌の講座を実施した。今後も県立の役割、市町村の支援という観点から考えていきたい。

○ 今の時代ネットワークを使って画面上で研修するのも面白いと思う。例えばそういったことも今後の一つの開催方法かと思う。

(3) 平成28年度事業計画(案)について

○ 子ども司書の対象学年が5年生と限定されているのは、理由があればお聞かせいただきたい。また、子ども司書は、学校図書館に司書の専任配置がないと難しいのではないか。

(事務局) 社会教育課の事業で詳しくは言えないが、学校図書館の図書委員ということではなくて、もっと自主的に図書館の運営を自分たちで計画する等できる子ども司書

を養成しようということを考えると、やはり高学年ということになる。

市町村を指定して、そこと連携して実施する。全体会を県立図書館で行い、指定された市町村の図書館で実際の活動をし、学校に戻って学校の先生と連携し学校の図書館でも活動することになっている。1年間で勉強したのち実践の2年目があるので、5年生となっていると思われる。

- 市町村立図書館との連携・協力・支援について、中津市は中津市学校図書連絡協議会という団体が立ち上がっており、読書ボランティアも拡大協議会の時に参加して、連携を図っている。

また、中津市も乳幼児と中学生を対象とした子ども読書支援事業を考えており、ブックスタートで絵本の世界に導き、次に未就学児のお話会を行って、次に学校図書館、特に中学校に専任司書を大幅に増やし配置いただいた。学校司書も資質を厳しく規定して資格を持った司書を雇用すると聞いている。子どもたちに本を手渡す活動が充実されるのを期待している。

このように他の市町村でもネットワークをつくろうと自治体から呼びかけていただきたい。それを県立図書館が主導してくださるようお願いしたい。

(事務局) 中津の例を見させていただき、社会教育課等とも話して県の方でイニシアチブをとって各自自治体で進められるようにしていきたいと思う。

- 小矢館長になられて学校図書館への支援が強められたと感じている。

だからこそ、是非春の全校長が集まる各課事務事業の説明会で、県立図書館からも説明いただければ、校長も認識できて良いと思う。

活用させていただくことが、子どもたちの読書活動の推進、生きる力をはぐくむことに確実に繋がっていくのだと思う。

(事務局) 図書館の取り組みはすぐに結果が出るものではなく地道に続けなくてはならない。その中で、なるべく会議に出て説明するようにしているが、各会議にも優先度がある。お話をいただきありがたく思う。今後も粘り強くピーアールしていきたい。

9 会議の資料名一覧

(1) 平成27年度第3回大分県立図書館協議会資料

ア 平成27年度事業実績について

- ・ 平成27年度事業実績
- ・ 大分県立図書館でこんなこともしています！(平成27年度事業概要)
- ・ サービス・館内設備等の工夫・改善の概要(平成27年度)

イ 平成28年度基本方針及び重点目標(案)等について

- ・ 平成28年度基本方針及び重点目標(案)
- ・ 大分県立図書館長期計画(2015改訂版)(案)

ウ 平成28年度事業計画(案)について

- ・ 平成28年度主要事業計画(案)
- ・ 障害者差別解消法施行に伴う取組(案)

(参考資料) 大分県立図書館長期計画

(2) 平成27年度第3回大分県立図書館協議会参考資料(当日資料)

- ・ 平成28年1月～3月実施事業関係チラシ等

10 問い合わせ先

担当課 大分県立図書館総務企画課

電話番号 097-546-9977